

平成26年11月6日  
第73回日本公衆衛生学会「自由集会」

話題提供

# 「県西健康福祉センター(保健所)と 市町村の協働による地区診断の実施」

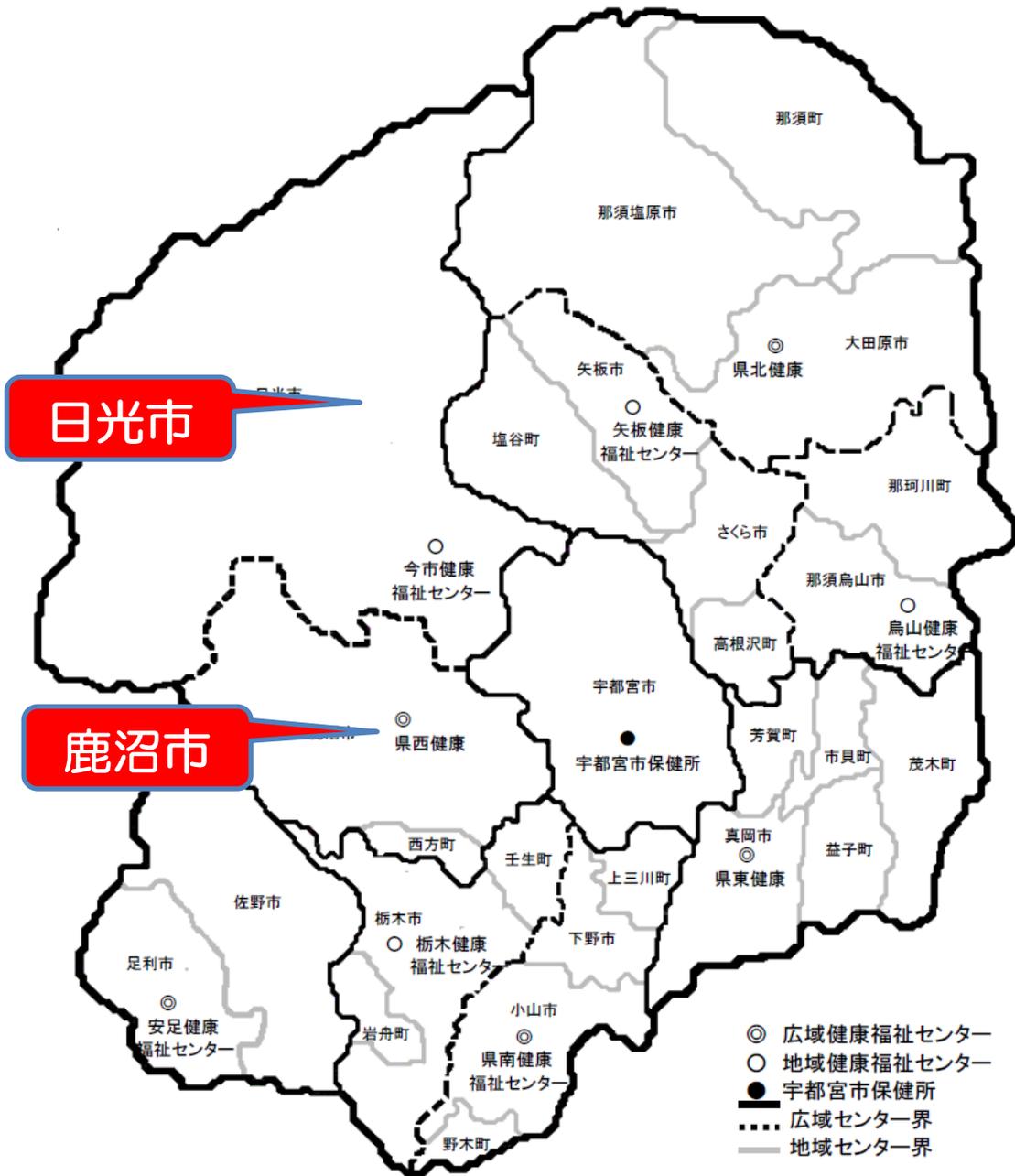
話題提供者

栃木県鹿沼市役所健康課

母子健康係長 大塚純子

# 栃木県健康福祉センター管轄図

平成22年3月31日現在



県西健康福祉センター  
(保健所)管内は、鹿沼市と日光市を所管する。

鹿沼市  
人口:103,914人  
面積:490.62km<sup>2</sup>

日光市  
人口:95,106人  
面積:1,449.87km<sup>2</sup>

平成26年4月5日  
住民基本台帳に基づく

# 鹿沼市の概要

平成26年4月1日現在

人口 101,237人 面積 490.62km<sup>2</sup>

世帯数 37,771世帯

高齢化率 25.2% 後期高齢者率 12.7%

24年

出生 744人(人口千対7.4)

死亡 1,161人(人口千対11.5)

乳児死亡 2人(出生千対2.7)

新生児死亡 0(出生千対0)

死産 8人(出産千対10.5)

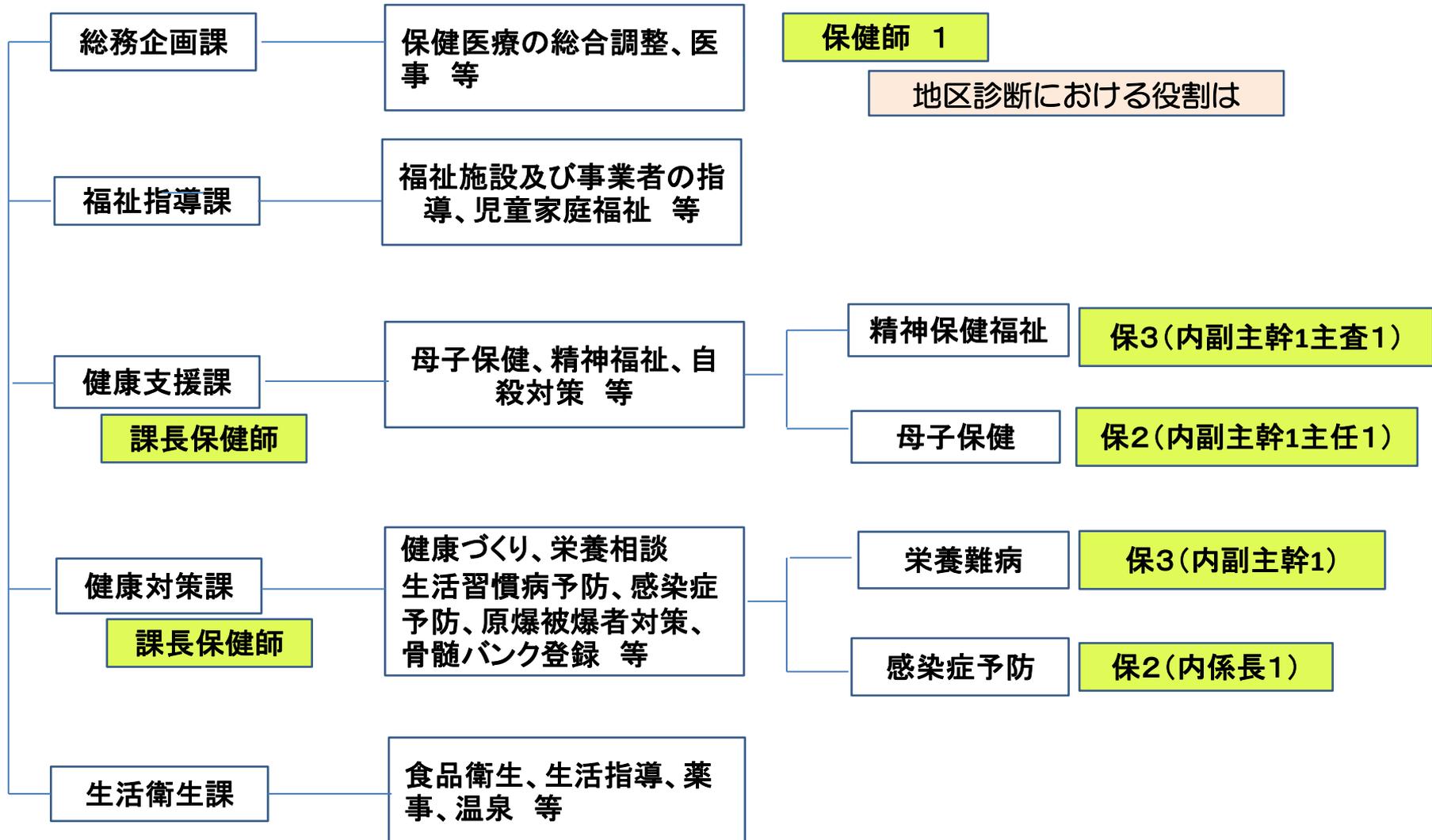


栃木県では各健康福祉センター（保健所）で地区診断を行うことになり、県西健康福祉センターでは管内にある保健師業務研究会として取り組んだ

県としての取り組みについて  
フロアーからの発言

# 県西健康福祉センター(保健所)と 鹿沼市が協働で取り組んだ経過

# 県西健康福祉センター(保健所)の組織と担当



# 県西健康福祉センター(保健所)と上都賀地区業務研究会での取り組みの経過 1

## H25.5.23.上都賀地区保健師業務連絡会総会

県西健康福祉センター(保健師)所長からの講話  
「行政保健師に期待すること」

### 講話の主な内容

- ・企画・立案・実施及び評価を行うことができる体制の整備
- ・個別課題から地域課題への視点及び行動の展開  
→保健師は地域を総合的に捉える視点を持って行動すること
- ・地区診断の重要性  
県が得意:量的診断 たて糸 } 両者が連携すると  
市が得意:質的診断 よこ糸 } パワーアップする

# 県西健康福祉センター(保健所)上都賀地区業務研究会での取り組みの経過 2

## H25.11.25 上都賀地区保健師業務連絡会

県西健康福祉センター所長の講義と演習  
「実践できる地区診断」

- ・鹿沼市、日光市、県西健康福祉センター、今市健康福祉センター、上都賀総合病院のそれぞれで、地区診断を実践し、次年度の総会に発表することとした

## H26.5.30 上都賀地区保健師業務連絡会総会

「地区診断」の発表会実施

# 上都賀地区保健師業務連絡会について

昭和45年頃に鹿沼保健所管内の保健師と主管課長が集まり、保健師業務の向上を図るために鹿沼保健所管内保健師業務研究会として発足し、県の研修費、各市町村による負担金と会費で会を運営していた。

平成18年に市町村合併により、市町の負担金がなくなったことを機に、会費により運営され会も「上都賀地区保健師連絡会」と改められた。

# 上都賀地区保健師業務連絡会について

## 目 的

上都賀地区の保健師が一堂に会し、保健医療福祉に関する専門的研究に努め、以て地域住民の保健衛生の向上をはかることを目的としている。

## 事業

目的達成のために下記の事業を行っている。

- (1) 地域保健・医療・福祉業務に関すること。
- (2) 保健師の資質向上に関すること。
- (3) その他必要と認めるもの。

## 組 織

県西健康福祉センター管内に勤務する保健師をもって組織されている。

# 上都賀地区保健師業務連絡会会員

平成26年4月1日現在会員数 84人

所属	会員数		
県西健康福祉センター 14	総務企画課 1	健康支援課 6	健康対策課 7
今市健康センター 3	保健衛生課 3		
鹿沼市 28 (嘱託2名)	鹿沼市保健師配置状況参照		
日光市 33	健康課 21 地域包括支援センター 6 介護保険課 2 生活福祉課(障がい部門) 1 保険年金課(特定健診) 2 総務課(職員健康管理) 1		
上都賀病院	健康管理課 2 看護部 1		
老人保健施設 かみつが	総合ケア部 1		
鹿沼北包括支援センター	保健師 1		
鹿沼南包括支援センター	保健師 1		

# 上都賀地区保健師業務研究会事業実施状況

平成25年度

日 時	内 容
平成25年 5月29日	総 会 講義：「行政保健師に期待すること」 講師：県西健康福祉センター所長 講義：「パーソナリティ障害について」 講師：国際医療福祉大学医療福祉学部特任教授
平成25年 8月26日	講義と実技「運動の効果と健康づくり」 講師：財団法人栃木県健康倶楽部理事
平成25年11月25日	講義：「実践できる地域診断」 講師：県西健康福祉センター所長
平成26年 2月17日	講義：「保健指導における行動変容や継続支援について」 講師：東都医療大学ヒューマンケア学部看護学科教授

# 上都賀地区保健師業務研究会事業実施状況

平成26年度

日 時	内 容
平成26年 5月30日	総 会 テーマ：「地区診断（途中経過）の発表・講評」 講師：県西健康福祉センター所長
平成26年 7月 9日	講義：「知的障害のパーソナリティ障害について」 講師：栃木リハビリテーションセンター 相談支援部 部長（臨床心理士）
平成26年11月 4日	講義：「地域診断に基づく事業展開について」 講師：自治医科大学看護学部長兼研究科
平成27年 2月頃 予定	上都賀病院・認知症疾患センター視察研修 講義：「地域との連携について」 講師：上都賀総合病院精神科医

# 各施設のテーマ

## 鹿沼市 3グループ

「テーマ鹿沼市の女性の脳血管疾患死亡率が高いのはなぜか」  
1G 健診受診率から 2G 救急搬送から 3G 生活保護から

## 日光市

分散配置による各課で持つデータについて

## 県西健康福祉センター(保健所) 4グループ

1班精神保健福祉 2班母子保健 3班成人保健 4班感染症  
(それぞれの班が現状と課題分析を行った)

## 今市健康福祉センター

「日光市内の主な筋神経系疾患患者の支援」にあたって現状と  
課題分析

## 上都賀総合病院

鹿沼地区のいちご農家の健診を通して～喫煙状況から～

# 鹿沼市としての取り組み

鹿沼市としては分散配置している保健師が「保健師連絡会」の中で全員参加で取り組んだ

# 鹿沼市における保健師配置状況

平成26年4月1日現在

市町名	配置課名	係名		
鹿沼市 28名 内課長 (1) 内嘱託 (2)	健康課 18 (1)	市民健康係 8	母子健康係 8	健康増進係 1
	高齢福祉課 4	地域包括支援センター 3 (1)		高齢者トレーニングセンター 1 (1)
	介護保険課 1	介護認定係 1		
	障がい福祉課 1	障がい福祉係 1		
	児童福祉課 1	家庭こども相談室 1		
	職員課 1	給与厚生係 1		
	厚生課 1	保護係 1		
	鹿沼市消防署	総務課管理係 1		

# 保健師連絡会について

- 鹿沼市の保健師連絡会は、平成19年度から保健師業務、生活習慣病予防のあり方及び健康づくり推進に向けて連携を図るため市保健師の業務連絡会として始めた。
- はじめは、主査以上の集まりだったが、内容に応じて全員での集まりも持った。
- 年代別のグループワーク等も取り入れ自由に意見が言える場にした。

# 鹿沼市保健師連絡会での取り組み経過

H25.8.30

「保健師活動指針」についての学習会

内容：グループワーク：鹿沼市の活動の振り返り

H25.11.29

「保健師活動指針について～指針が意味するもの～」

・データや地域の情報に基づく「地区診断」の必要性について再確認がされた

H26.1.15

「地区診断」への取り組み方について

「脳血管疾患による女性の平成22年の年齢調整死亡率が高いのはなぜか」を3つのグループに分かれて要因を調べることにした。

# H25.8.30保健師連絡会結果 私達が感じたこと・・・

- ・「保健師活動指針」を読んで活動の振り返りになった。
- ・個別の支援から、地域の活動への広がりが課題
- ・地区担当とは地域に責任を持つことか
- ・地域に出て動けば活動が広がる
- ・地域力って？
- ・保健師は何をして行ったらいいんだろう



# H25.11.29保健師連絡会結果 私達が感じたこと…

- 皆についていくのに必死 で考える余裕なかった。
- 他の市の人たちは、どうやっているのかな？
- 問題を見つけられる保健師になりたい。
- 地区診断、できていなかった。
- データに基づくことできていなかった。
- 日々の業務に追われすべて中途半端
- 地区に責任持った活動できるか不安。
- 地区のとらえ方の違い、個から集団への考え方。



## 26.1.15 地区診断の進め方について保健師連絡会で検討

### 上都賀地区保健師業務連絡会のふりかえりとこれから調べる事

・地区診断は問題解決のためのアセスメントであり、日々の活動や、業務の中を通して「あれっ?」「なぜ?」と思ったこと「気づき」をそのままにしないこと。

今回は、次年度の総会で、11月に行った学習の地区診断をそれぞれの所属で実際に行って発表することになったため、集まりを持った。

→今回の進め方は、すでに出されている気づき「脳血管疾患による女性の平成22年年齢調整死亡率が鹿沼市は高いのはなぜか」について3グループに分かれ調べる。

**1グループ:**・脳血管疾患の種類→年齢別、種類別、地域比較、管内比較  
・有病率→経年的変化、疾病別(高血圧・糖尿病・高脂血症)  
・健診受診結果→年齢別、疾患別、経年変化

**2グループ:**(仮説)ひとり暮らしのために看取られずに死んでいくのは、救急車を呼び  
い人が多いから  
・高齢化率、世帯構成、救急搬送時間、ドクターヘリ、たらい回し、救命率  
・男女別発症状況、発症の男女差(血管・食事・高血圧)

**3グループ:**健診受診率の男女比、保健指導参加率  
医療費や食事のとり方のちがい

# 県西健康福祉センター（保健所）との連携

県西健康福祉センター（保健所）健康支援課長のアドバイスにより

H26.3.3 県西健康福祉センター地域支援リーダーよりアドバイスを受ける。

H26.3.11 県西健康福祉センター所長よりアドバイスを受け、方向性の修正した

# 県西健康福祉センター(保健所)との連携1

## 26・3・3 県西健康福祉センター健康対策課保健師のアドバイス

1グループ: 脳卒中発症登録は減少しているのに、登録者数は増加

→これは、登録制度が、周知されていないか、若しくは長年のためきちんと届出をしていない可能性があるのでは。

発症のところの原因疾患については、既往歴調査が必要

→全国で調査しているところがあれば情報提供する。

2グループ: 救急搬送から見えてくるものは・・・

→脳卒中は、死亡が多い？不搬送になる。

不搬送は男<女、80歳代が特に多い

3グループ: 健診受診率、保健指導参加率とも女性の方が多い。

生活保護から見えてくるものは？

→女性の入院はクモ膜下出血がほとんど、男性は脳梗塞。



データからは、各グループともいろいろな要因が考えられそうだが、ほしいデータが思うように集められない現状がある。県西健康センターで調べられる資料は見つけて提供する。

# 相談した健康対策課保健師の役割

フロアーからの発言

# 県西健康福祉センター(保健所)との連携2

## 26.3.11 県西健康福祉センター所長からのアドバイス

**「仮説」をまず立てることが重要  
自分たちが何を知りたいのか一つに絞る  
着眼点はいいところ**

1グループ:きちんと健診を受けていれば発症しない

2グループ:女性の方が時間がたって亡くなっている人が多い

3グループ:生活保護を受けている人は脳卒中の発症が高い。



地区診断をしてみても「データの収集・分析で、何か成果を出さなくてもよい」と言う所長の言葉にホッとした。

## 鹿沼市保健師連絡会

### 25.8.30 「保健師活動指針」について学習会

- ・指針の持つ意味、内容
- ・保健師活動調査の結果から
- ・グループワーク「活動の振り返り」

※私たちが感じたこと参照

### 25.11.29「保健師活動指針について～指針が意味するもの」

- ・階層別のグループワークを実施

※私たちが感じたこと参照

### 26.1.15「地区診断」への取り組みを開始

- 気づき→脳血管疾患による女性の平成22  
年年齢調整死亡率が鹿沼市は高い
- 3つのグループ分けをし、各グループで集まりを  
持ち、データの読みとり開始

※地区診断の進め方連絡会で検討参照

各グループ毎にアドバイスを受け、軌道修正し、発表までにまとめていく作業をしていった。

### <結果>

- ・関係機関との連携、データを集める  
事の必要性、みんなで行うことで  
違った視点が出た、グループメン  
バーの得意分野で担当が決まった、  
アドバイスがあったので修正で  
きた。

## 上都賀地区保健師業務連絡会

### 25.5.23 「行政保健師に期待すること」

講師：県西健康福祉センター所長

### 25.11.25「実践できる地区診断」

講師：県西健康福祉センター所長

講義を聞いて、各所属で地区診断を実施し、次年度の総会にて発表し、所長からアドバイスをいただくことにした。

※県西健康福祉センター（保健所）との連携1参照

### 26.3.3 途中経過の報告

県西健康福祉センター地域支援リーダーから各グループでアドバイスをもらう。全国  
の同調査の資料を提供してもらう。

### 26.3.11 中間報告

県西健康福祉センター所長を行いアドバイスを受けた

- ・各グループの着眼点がいい
- ・「仮説」をたてデータの検証、自分たちが知りたい  
ことを、一つ一つ絞っていく
- ・同じくらいの人口規模の市との比較

※県西健康福祉センター（保健所）との連携2参照

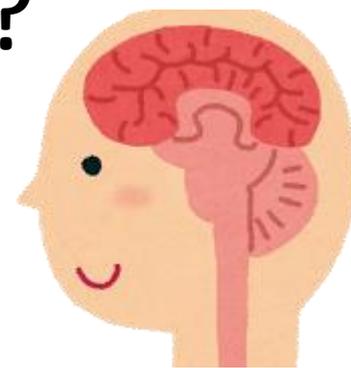
### 26.5.30 <総会において発表>

★ 鹿沼市・日光市・県西健康福祉センター・今市健康福祉センター  
・上都賀総合病院

# 鹿沼市の脳血管疾患による死亡率が高いのはなぜか？

3G

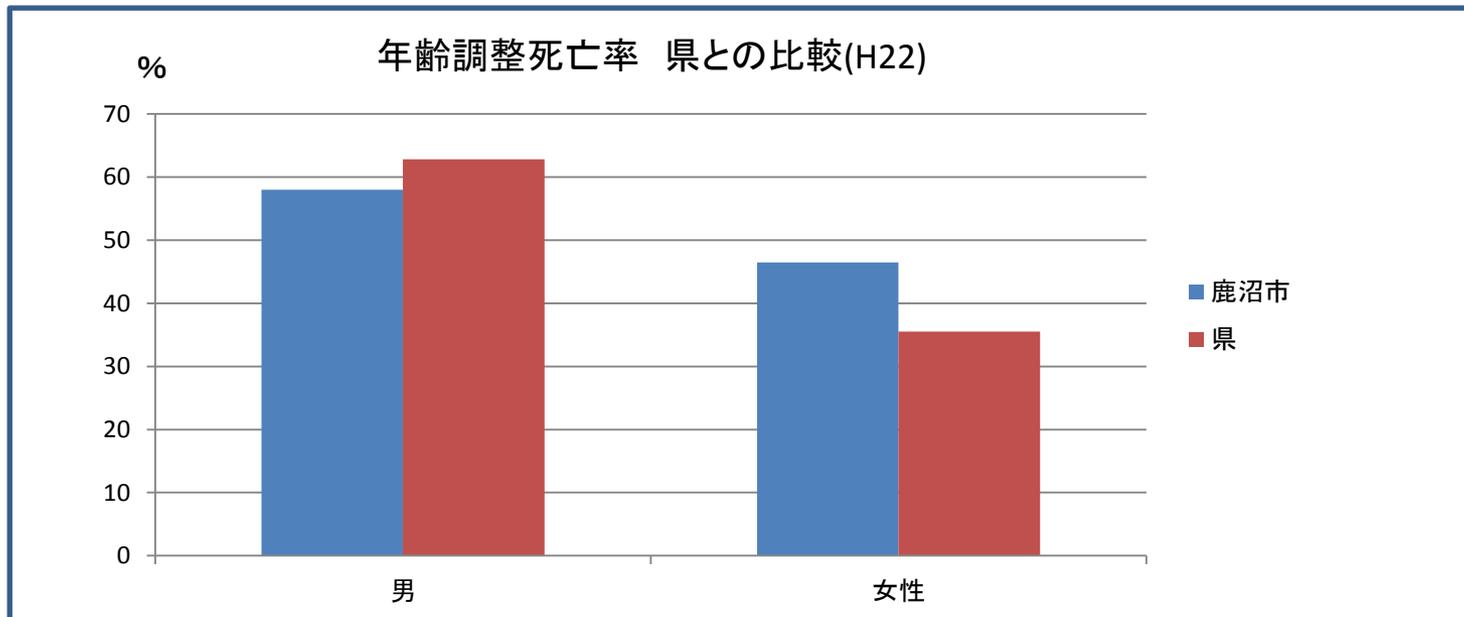
大貫律子 大塚純子 川田佳代  
村田礼子 大野寿子 長谷川有香里  
堀添梢 杉山花那 落合幸枝



# はじめに

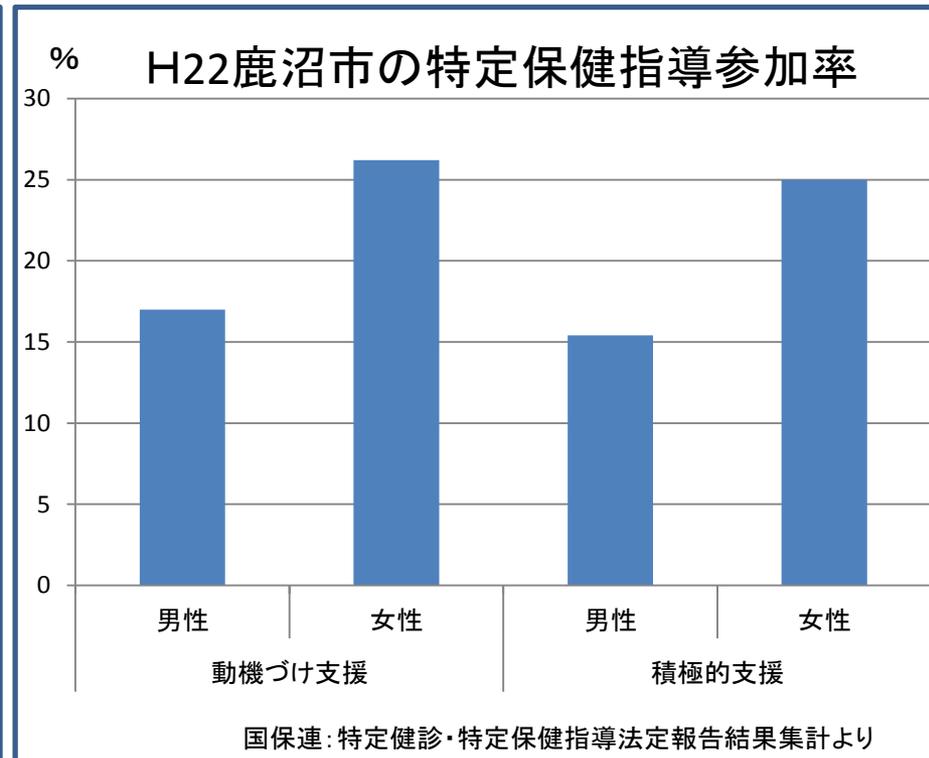
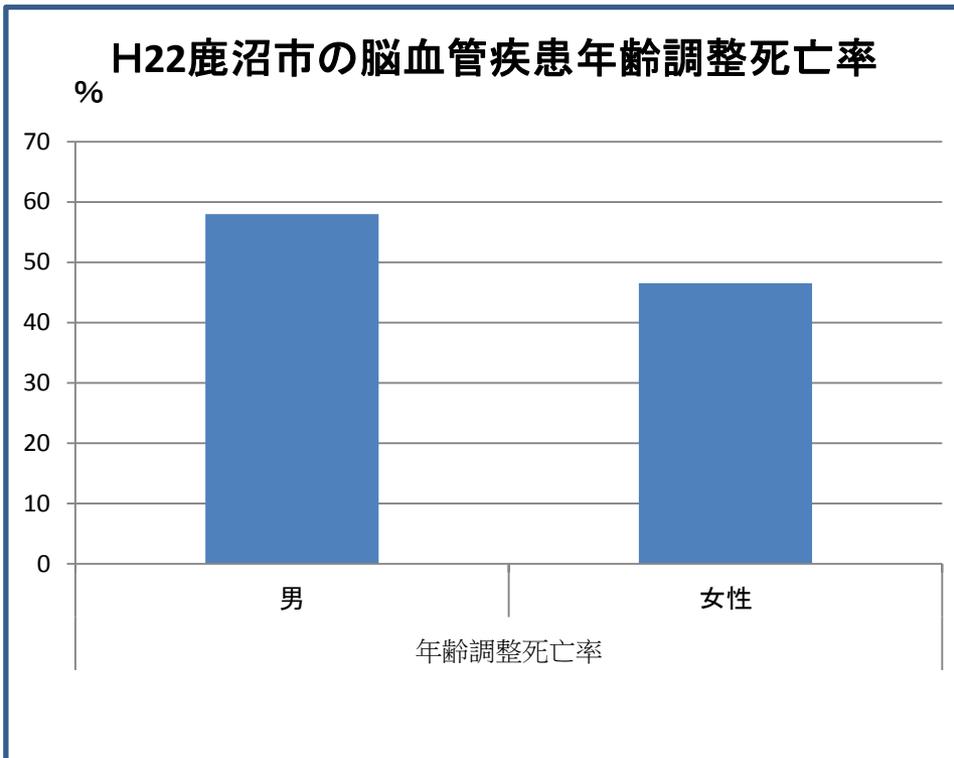
- 平成22年度鹿沼市脳血管疾患による女性の年齢調整死亡率が県と比較し高いことに疑問を持ったため。
- 人口規模の近い那須塩原市と比較して検討した。

**H24年度** 鹿沼市 人口総数 101079人  
那須塩原市 人口総数 117758人



# 仮説①

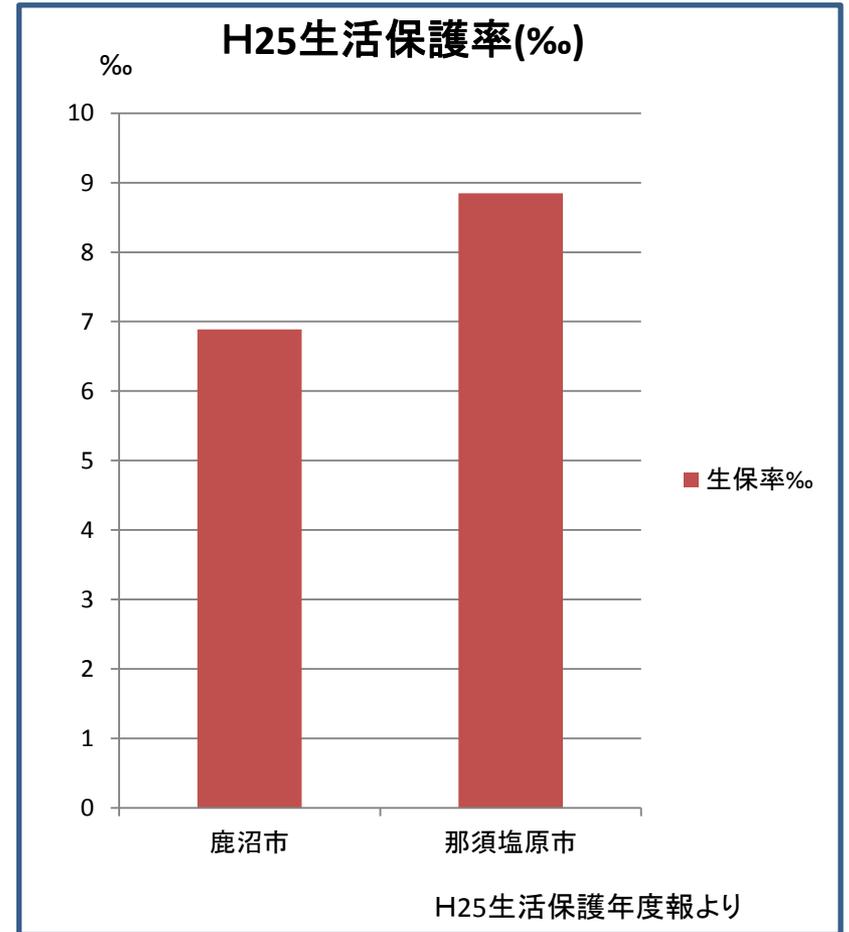
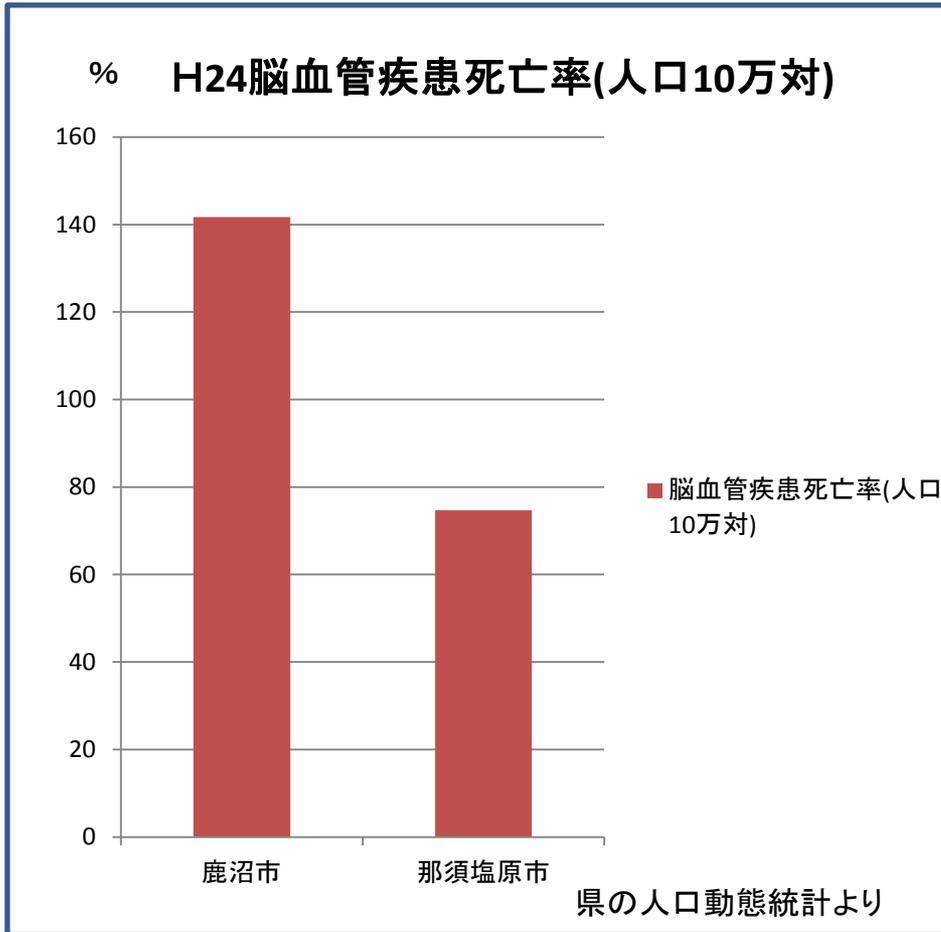
- 保健指導参加率が高いと脳血管疾患の発症は少ない。



女性の方が男性と比べ、参加率は高く、脳血管疾患の年齢調整死亡率は低い結果となっている。保健指導の効果が出ていると考えられる。

# 仮説②

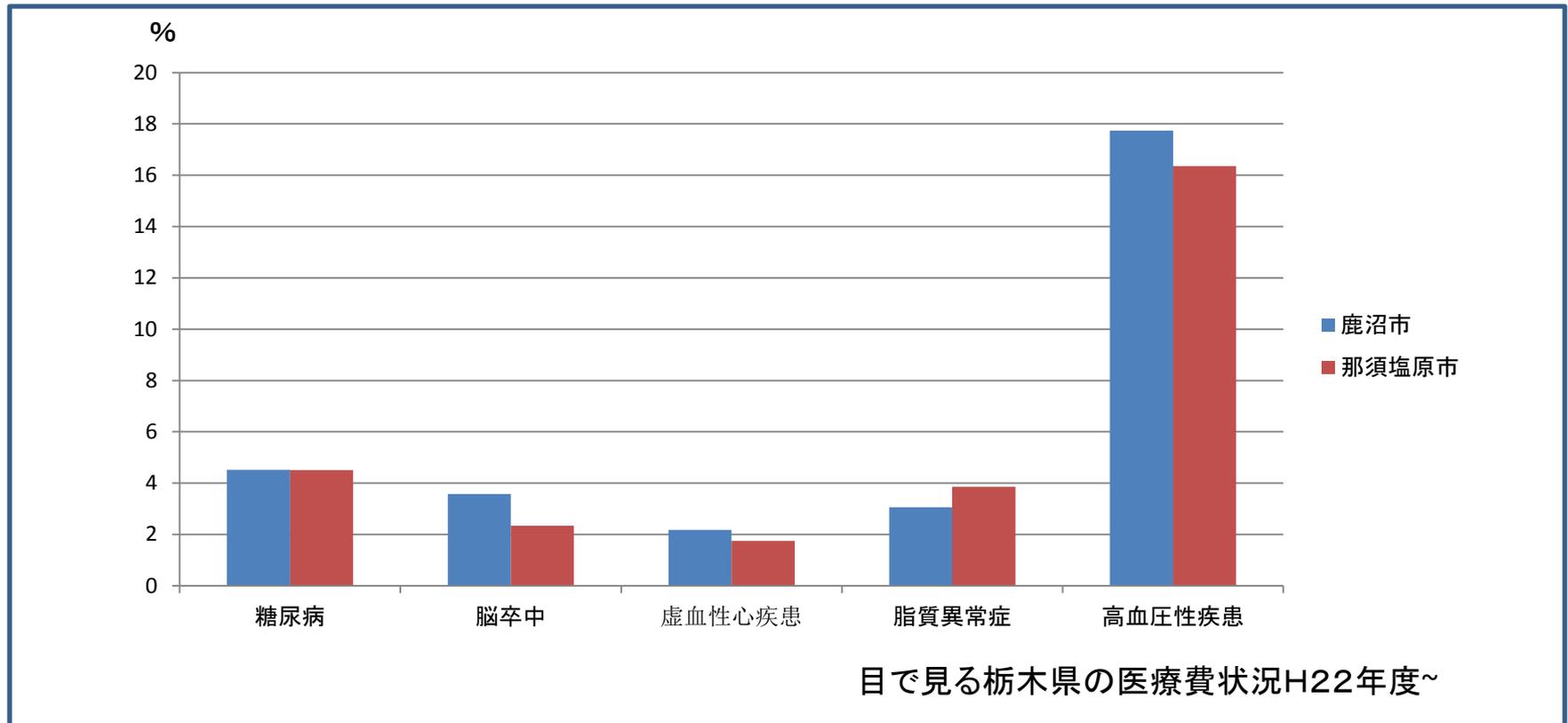
## 生活保護率が高いと脳血管疾患の死亡率が高い



生活保護率は那須塩原市が高いが脳血管疾患死亡率は低い。

# 仮説③ -1

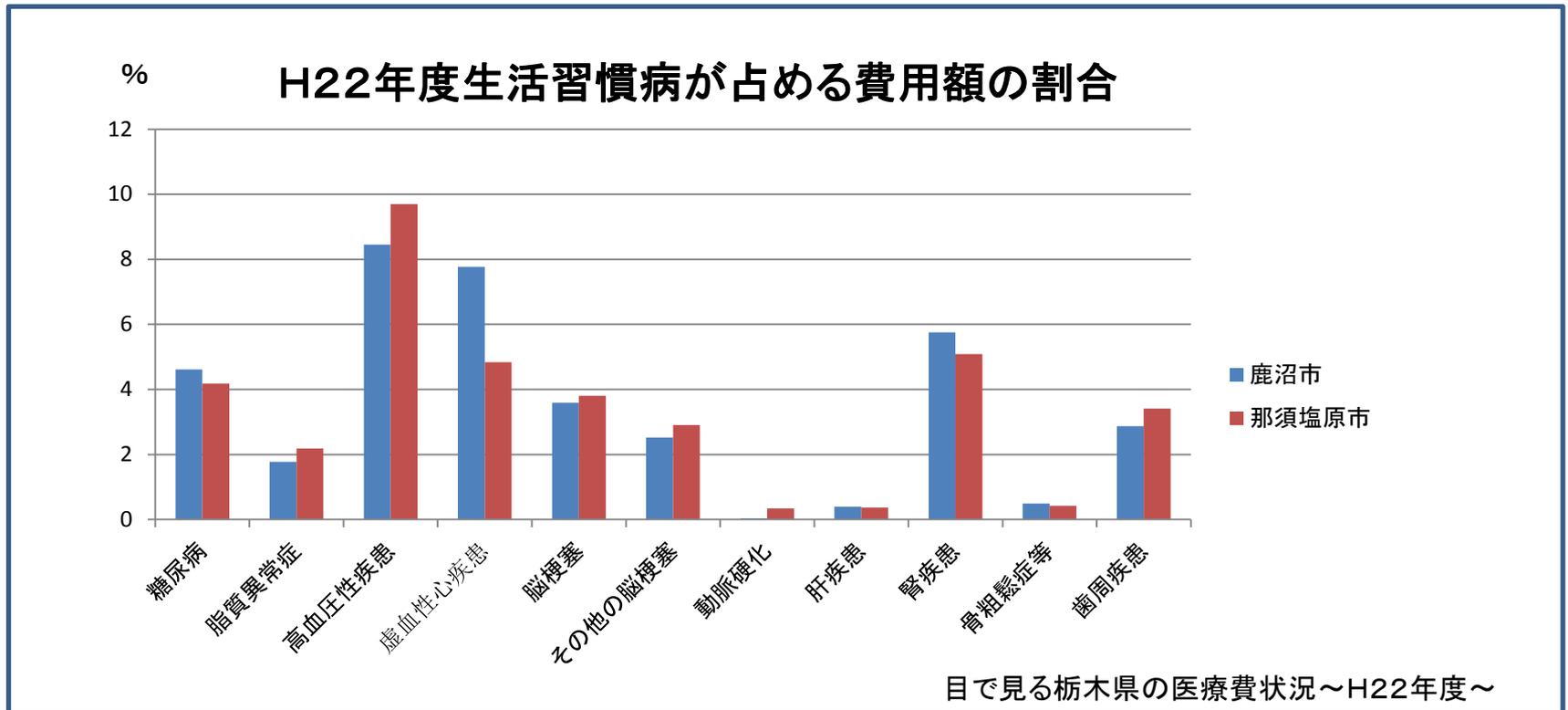
医療費における生活習慣病構成比の高血圧が高いと  
脳血管疾患死亡率が高い



生活習慣病構成比の高血圧を比べると、鹿沼市の方が高い。

### ③-2

高血圧性疾患の割合が高く、脳血管疾患死亡率も高いと、生活習慣病が占める費用額も高い



生活習慣病が占める費用額の割合をみると鹿沼市の方が高血圧性疾患の費用額の割合が低い。

# 考察

上記の結果から、鹿沼市の方が生活習慣病の構成比は高血圧疾患が高いにも関わらず、費用額の構成では低いことから、考えられることは高血圧疾患の治療中断や、放置による脳血管死亡率が高いのではないかと考えられる。今後は、治療中断や放置を避ける保健指導や普及啓発に取り組む必要がある。

地区調査を実施して

## 26.10.23保健師連絡会

# 「地区診断を実施して感じたこと・・・」

- ・いろいろなデータを集めたが、分析は難しかった。
- ・データを読むことでいろいろな発見があった。
- ・関係機関とつながりが持てた。
- ・1人では出ないいろいろな視点があった。
- ・仮説の証明が今回のデータでは、できなかった。
- ・それぞれの、課がもつデータがわかった。
- ・地区診断のやり方が分かり、自分の地区に生かせる。
- ・県西健康福祉センターのアドバイザーがいることで、方向性の修正ができ、安心した。
- ・各課で、自分の所の情報は、まとめておく必要がある。
- ・他機関と一緒にできたことは、よかった。
- ・今後も継続したい。



# 今後の進め方

- 地域の健康課題を明らかにするために、今後も継続した地区診断ができるといい。
- 日々の業務の中での「気づき」をそのままにしない、データを集め、一つ一つ積み上げていく。
- 事業の始まるスタート時期に、市の現状を把握し事業に活かしていく。
- 他部門とのつながりを生かす。
- まず自分の所のデータの整理をする。
- 今後は、これをもとに県西健康福祉センター(保健所)の管内比較を市の事業に活かせる地区診断として実施していきたい。

